

進路指導部だより

令和7年12月23日 No.4
東京都立村山特別支援学校
校長 阿部 智子
担当 屋森 光子

今号では、2学期に取り組んだ中学部、高等部の進路学習について紹介します。

中学部職場見学・体験（11月12日、13日、18日、20日） 中学部BCグループ対象

中学部BCグループでは、1、2年生は職場見学、3年生は職場体験を行い、職場や就労の実際を見聞きし、どのような進路があるのかを学んでいます。実際に働く人々からお話を伺い、自身の夢を実現するための課題について考える機会としています。

就労継続支援B型作業所や生活介護の事業所では、卒業生の活躍を間近で見学・体験することができました。市役所や図書館では、地域のために働く人々の業務内容や地域貢献への思いを学び、有意義な学習となりました。



総合福祉センターの機能について学びました。
社会福祉法人友遊会 東大和市総合福祉センター



市役所の様々な業務について理解を深めました。
武蔵村山市役所



地域の就労継続支援B型の作業所を見学し、自身の得意なことを生かして働くよう多種の業務があることを知りました。
社会福祉法人みんなの会 みんなの家



念願の「さおり織」体験を行いました。
社会福祉法人みんなの会 みんなの家



図書館司書の業務を体験しました。
武蔵村山市雷塚図書館

高等部進路講演会

12月1日（月）に就労継続支援B型事業所に通所されている本校卒業生を招き、職場での業務や生活、余暇活動等について御講演いただきました。

【講演の内容】

小学部・中学部時代は憧れの職業や会社があり企業就労を希望していたが、身辺面の自立や通勤、臨機応変な対応の苦手さなど、自身の課題に直面した。高等部での進路講演会や進路見学を通じて、今もっているスキルを生かして働き、自分のペースでステップアップしていく選択肢があることに気付いた。現在は得意なパソコンスキルを生かし、法人で販売している地方銘菓に関する記事のホームページ掲載、フライヤーやポスターなどの制作、市内児童館や保育園等のホームページ更新などを担当している。余暇ではテーマパークでの撮影や動画編集を楽しんでいる。当初抱いた夢はもち続けており、英語やコミュニケーション、自主通勤練習を継続している。

後輩の生徒たちへは、自分自身が自分の良さを理解することの大切さ、自分らしく学校生活を楽しんでほしい。また、周囲との関係を築いていくために言葉遣いや常日頃の「報・連・相」を大切にすることを心掛けてほしい。

「日頃から報告や連絡、相談を行っておくとピンチの時に必ず周りの人が状況を理解して助けてくれる。」と自身の経験から届けられたアドバイスは生徒たちだけでなく教員の胸にも響きました。

参加した生徒からは「急なスケジュール変更が苦手だが、良い方法はありますか。」との質問があり、講演者が現在使用しているアプリを紹介いただきました。生徒たちにとって、卒業後の実際の生活について講演を聞き、自身の将来を考える良い機会となりました。

